

2018年3月期第3四半期 決算説明資料

2018年2月8日（木）

株式会社 **力ネカ**

目 次

業績概要	1
四半期別 売上高・営業利益	2
セグメント別 売上高・営業利益	3
事業概況	4
貸借対照表	8
キャッシュ・フロー計算書	9
業績予想	10
(ご参考)	11

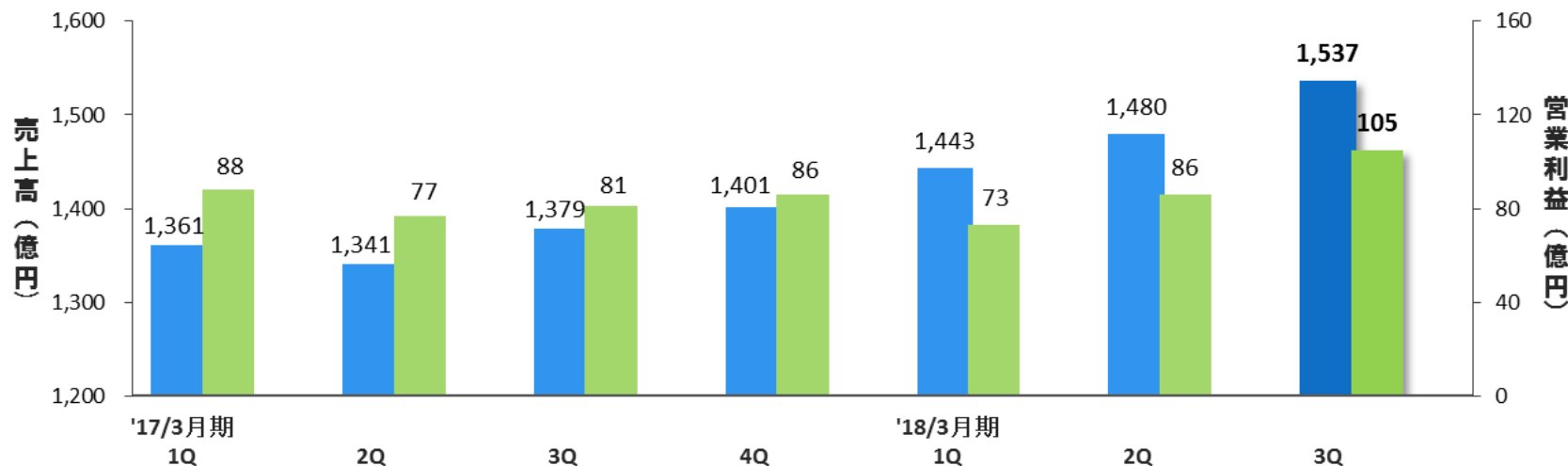
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(単位：億円)

	2017年3月期 3Q累計	2018年3月期 3Q累計	増減	
			金額	%
売上高	4,081	4,459	378	9.3%
営業利益	246	264	18	7.3%
経常利益	208	243	35	17.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	130	157	28	21.5%
1株当たり四半期純利益	39.03円	47.89円		

- 売上高は、海外事業が牽引して過去最高を更新
- 営業利益は、一部原料価格の高騰（1Q）や米国ハリケーンの影響（2Q）を吸収し増益。経常利益・純利益もそれぞれ増益

四半期別 売上高・営業利益



(単位：億円)	2017年3月期				2018年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	1,361	1,341	1,379	1,401	1,443	1,480	1,537
営業利益	88	77	81	86	73	86	105

- 売上高 : 5四半期連続の増収、3四半期連続で過去最高を更新し順調に拡大
- 営業利益 : 一時的な減益要因(1Q:原料高騰、2Q:ハリケーン)が解消し、3Qは100億円超の水準となり、成長軌道を回復

セグメント別 売上高・営業利益

(単位：百万円)

	売上高				営業利益			
	2017年3月期 3Q累計	2018年3月期 3Q累計	増減		2017年3月期 3Q累計	2018年3月期 3Q累計	増減	
			金額	%			金額	%
Material SU	149,803	175,192	25,388	16.9%	15,417	18,871	3,453	22.4%
Quality of Life SU	104,386	115,116	10,729	10.3%	12,304	11,615	△688	△5.6%
Health Care SU	34,042	32,787	△1,254	△3.7%	7,972	6,618	△1,353	△17.0%
Nutrition SU	119,123	121,950	2,826	2.4%	3,933	4,657	723	18.4%
その他	725	884	158	21.8%	309	441	131	42.7%
調整額	-	-	-	-	△ 15,367	△ 15,848	△481	-
計	408,082	445,931	37,848	9.3%	24,570	26,355	1,784	7.3%

※SU : Solutions Unit

Material	Vinyls and Chlor-Alkaliは海外市場中心に販売が好調、Performance Polymersはグローバルに旺盛な需要が続くなか、マレーシア新設備が寄与して販売が拡大
Quality of Life	E & I Technologyは超耐熱ポリイミドフィルムの販売が順調に拡大、Foam & Residential Techsは販売数量が伸び悩み、Performance Fibersは販売量は増加したが、頭髮のアフリカ市場の回復スピードが想定より遅く、本格的な回復は4Q以降
Health Care	Medical Devicesは販売が堅調に推移、Pharmaはバイオロジクスの販売が順調に拡大したが、低分子医薬品原料は販売が集中した前年同期に比べ販売数量が減少
Nutrition	Foods & Agrisは新規の食品素材を武器に販売が拡大、Supplemental Nutritionは米国市場を中心に引き続きQHの販売数量が増加し、業績に大きく貢献

売上高

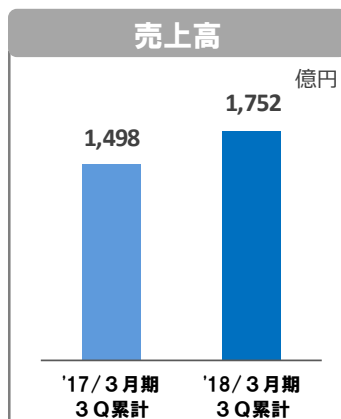
1,752億円 (対前年同期 16.9%増)

売上高構成比

39.3%

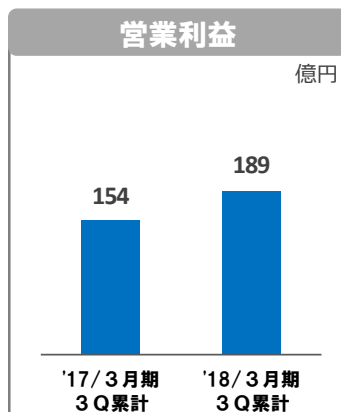
営業利益

189億円 (対前年同期 22.4%増)



Vinyls and Chlor-Alkali

- ・ 一般用塩化ビニル樹脂及びか性ソーダは、アジア向け輸出が引き続き好調に推移するとともに、国内向けも堅調な販売
- ・ 塩素化塩ビ及び塩ビペースト樹脂は、海外市場を中心に販売が順調に拡大



Performance Polymers

- ・ モディファイヤーは、上半期に原料価格の急変やハリケーンなどの影響を受けたが、グローバルに旺盛な需要が続くなか、マレーシア新設備が本格的に寄与し販売が拡大
今後も、非塩ビ用途向けなどに用途拡大が進み、業績の拡大が続く見通し
- ・ 変成シリコンポリマーについても、世界的な能力不足に対し昨年7月に稼働したマレーシア新設備が寄与し、順調に販売が拡大
- ・ 今後、成長が期待される航空・宇宙分野において、新たな高機能素材の開発を進め、価値あるソリューションの提供を進めていく

売上高

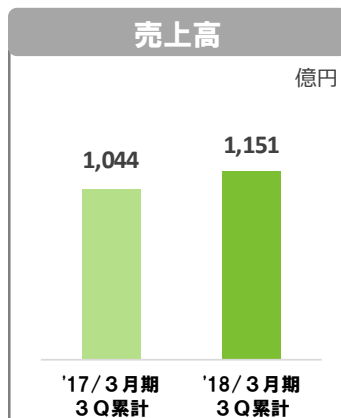
1,151億円 (対前年同期 10.3%増)

売上高構成比

25.8%

営業利益

116億円 (対前年同期 5.6%減)



E & I Technology

- ・ 超耐熱ポリイミドフィルムは、大手スマートフォンメーカーの新機種大型需要向けの生産体制の強化が貢献し、販売が順調に拡大
- ・ ディスプレイ向けなどポリイミド樹脂技術を活用した新製品の採用機種も増加し収益に寄与
- ・ 今後、スマートフォンなどのデジタルデバイスの小型化・高性能化に伴い、超耐熱ポリイミドフィルムや超高熱伝導グラファイトシートの需要が拡大する見込みであり、生産能力の増強を検討中

Foam & Residential Techs

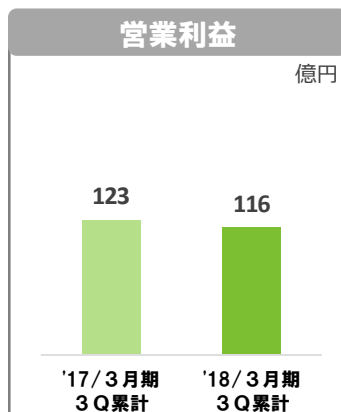
- ・ 漁獲量の減少や天候不順による建築・土木工事の遅れにより販売数量が伸び悩んだ
- ・ 今後は、軽量化、省エネルギー、省資源、断熱性など更なる高機能発泡樹脂製品を上市し、EV化が進む自動車分野での拡販や住宅ソリューションビジネスの展開を強化していく

Performance Fibers

- ・ パイル分野や難燃・資材分野の需要が旺盛で販売量は増加
- ・ アフリカ市場の頭髮需要はボトムから反転し立ち上がりつつあるが、そのスピードは想定より遅く、本格的な業績回復は第4四半期以降となる見込み
- ・ 頭髮市場の需要拡大は続いており、アフリカ及びその他の新市場の開拓を進めていく

PV & Energy management

- ・ 上市した高効率太陽電池新製品の販売などが順調に拡大し、構造改革が進んでいる
- ・ 太陽電池事業を軸に、住宅のネット・ゼロ・エネルギーハウス (ZEH) やネット・ゼロ・エネルギービルディング (ZEB) に貢献するエネルギーソリューションの提供に注力していく



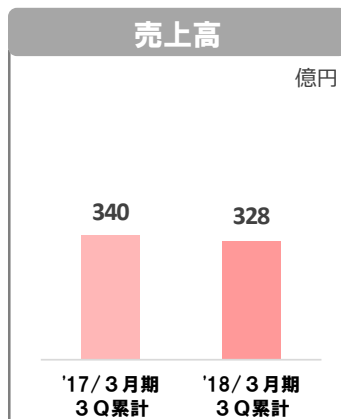
売上高

328億円 (対前年同期 3.7%減)

売上高構成比 7.4%

営業利益

66億円 (対前年同期 17.0%減)

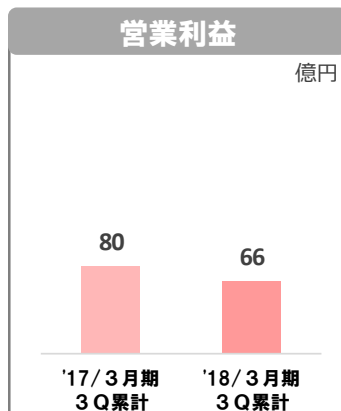


Medical Devices

- ・ 国内・海外市場とも販売が堅調に推移
- ・ 末梢血管用の高圧拡張バルーンカテーテルなど新製品の販売も順調に進んでおり償還価格下落を吸収し前期並みの収益を確保
- ・ 今後はドラッグコーティッドバルーンなどの新規医療領域拡大や血液浄化事業の米国での販売体制を強化していく

Pharma

- ・ バイオロジクスの販売が順調に拡大し、能力増強を進めている
- ・ 一方、低分子医薬品原料は販売が集中した前年同期に比べ販売数量が減少したが、今後は回復していく見込み
- ・ 一昨年米国西海岸に設置したカネカUSイノベーションセンターを活用し、オープンイノベーションを強化していく



売上高

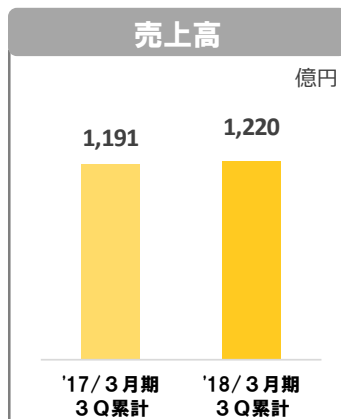
1,220億円 (対前年同期 2.4%増)

売上高構成比

27.3%

営業利益

47億円 (対前年同期 18.4%増)

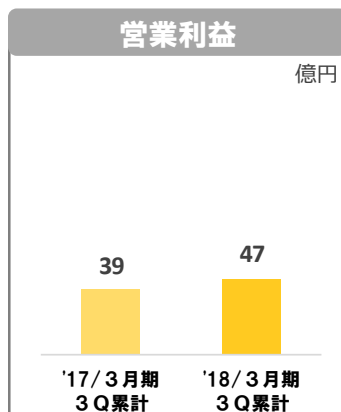


Foods & Agris

- 新規の食品素材を武器にした大手製パン、コンビニエンスストアや食品メーカーへの積極的な提案型営業を進め販売が拡大
- 国内外のグループ会社の販売も順調に推移
- 農畜産分野における新たなビジネスモデル展開を目指し、新規ソリューションの市場開発を進めていく

Supplemental Nutrition

- 還元型コエンザイムQ10は米国市場を中心に引き続き販売数量が増加し、業績に大きく貢献
- 酸化型コエンザイムQ10に関する米国特許侵害訴訟の一部和解成立により、北米における酸化型コエンザイムQ10マーケットのシェア拡大と中国市場における還元型コエンザイムQ10の販売拡大を進めていく



(単位：億円)

	2017年3月末	2017年12月末	増減
資産の部			
流動資産	2,804	3,042	237
固定資産 等	3,125	3,324	200
資産合計	5,929	6,366	437
負債の部			
有利子負債	1,101	1,115	14
その他	1,613	1,808	196
負債合計	2,713	2,924	210
純資産の部			
自己資本	3,051	3,265	214
非支配株主持分 他	164	177	13
純資産合計	3,216	3,442	227
負債、純資産 合計	5,929	6,366	437

- 総資産は、設備投資による有形固定資産の増加や、投資有価証券の増加により増加

(単位：億円)

	2017年3月期 3Q累計	2018年3月期 3Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	377	352
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 286	△ 294
フリー・キャッシュ・フロー	91	57
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 109	△ 85
現金及び現金同等物の増減額 (含 換算差額、連結の範囲の変更に伴う増減)	△ 20	△ 19
現金及び現金同等物の四半期末残高	411	392

- 営業CFは、売上拡大により運転資金が増加したが、純利益及び減価償却費により352億円の収入
- 投資CFは、積極的な設備投資の継続により294億円の支出

- 3Qは、上半期に発生した原料問題やハリケーン影響も解消し、主力事業の能力増強の寄与や新製品の戦力化が進み成長軌道を回復
- 4Q以降は、原料価格上昇に対しタイムリーに価格修正を進めるとともに、モディファイヤー、変成シリコンポリマーなどのマレーシア新設備を活用した拡販や、戦略的な成長に注力しているMedical、Pharma、Supplement及びスマホ向けに市場拡大しているE & I SVの事業基盤を強化し、当社の得意としているグローバルな事業拡大の推進に取り組む
- マーケット視点に立脚したソリューション・プロバイダーとして、オープンイノベーション、アライアンス、M & Aを積極的に進め、事業ポートフォリオの変革と成長に注力する
- 以上のことから、連結業績予想に変更はありません

<参考>2017年11月9日公表の2018年3月期連結業績予想

(単位：億円)

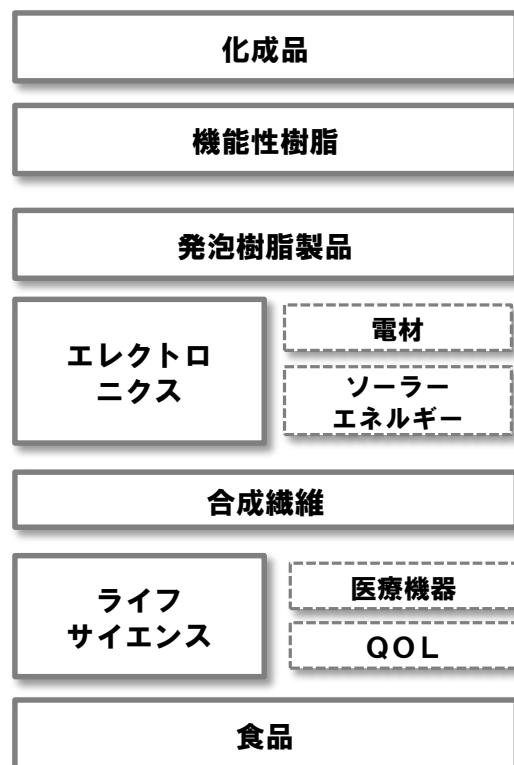
	2017年3月期 通期 (実績)	2018年3月期 通期 (予想)	増減
売上高	5,482	6,100	618 (11.3%)
営業利益	332	370	38 (11.6%)
経常利益	274	330	56 (20.3%)
親会社株主に帰属 する当期純利益	205	210	5 (2.5%)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

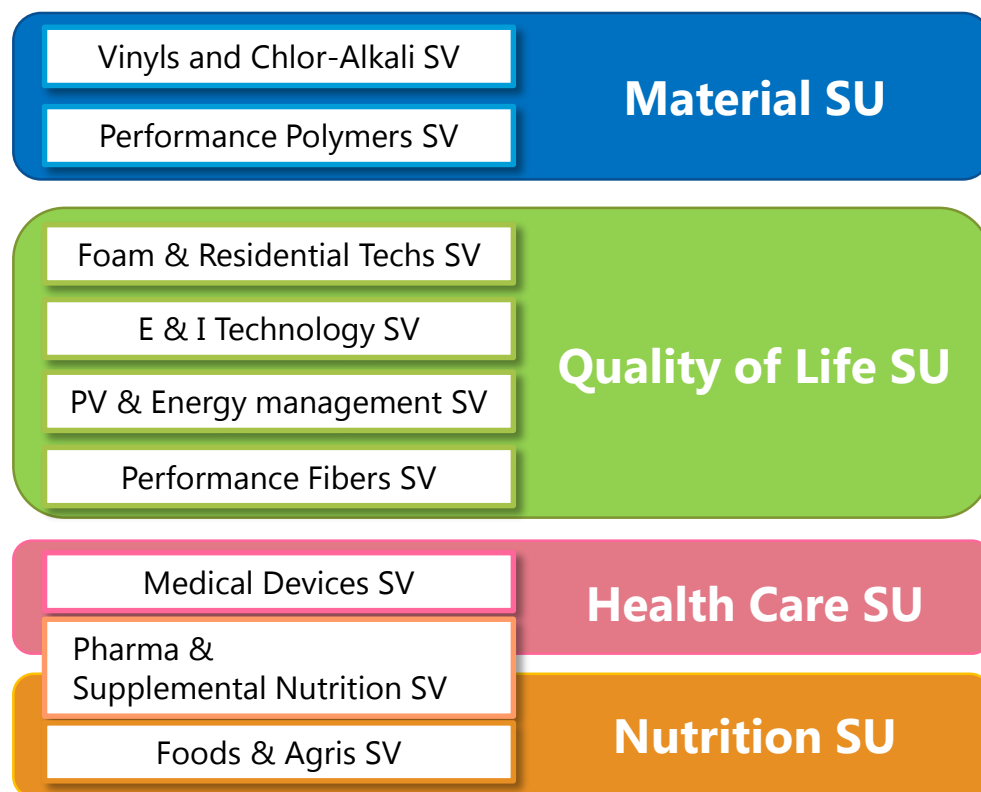
(ご参考) 開示区分の変更について

- 2018年3月期第1四半期より、開示区分を下記のとおり変更しております

旧報告セグメント



新報告セグメント [2018年3月期以降]



※SU・・・ Solutions Unit (セグメント)

※SV・・・ Solutions Vehicle (事業単位)

＜IRに関するお問い合わせ＞

株式会社 **カネカ** IR・広報部

TEL : 03-5574-8090